

われら学ばん

学び続けるチーム岡本小



岡本小学校だより

令和元年5月16日(木)

第3号

学び続ける学校「学び続ける子ども」「学び続ける教師」「学びを支える環境」

10連休が終わり、「平成」から「令和」へ、新しい時代が始まりました。

新緑が明神ヶ岳を駆け上がり、校庭のクスノキの若葉が輝いています。5月25日(土)の運動会の練習が本格化し、子どもたちの元気な声がグラウンドに響き渡っています。当日まで、なるべく好天が続き、青空の下で運動会ができることを願っています。

合同引き取り訓練

学び続ける子ども&学びを支える環境

4月17日(水)には、岩原小学校、岡本幼稚園、めぐみの丘幼稚園との合同で、引き取り訓練を行いました。想定は、13:30に、震度5弱の地震が発生し、一次避難行動の後、安全確認ができたため、児童を引き取り人に引き渡すというものでした。

当日は好天で、グラウンドでの引き渡しとなりました。ほとんどのご家庭が、20分以内には来校され、無事に引き渡すことができました。実際に災害が発生した場合には、天候によっては体育館や教室での引き渡しも想定されます。また、すぐに引き渡せないケースも出てくるのが想定されます。

学校では、児童の安全を確保しながら、引き渡せるまで児童を保護いたします。ご家庭でも、いざという時の約束について話し合われる機会としていただければ幸いです。



クスノキの周りで引き渡し

全国学力・学習状況調査

学び続ける子ども&学び続ける教師

4月18日(木)には、6年生を対象として、全国学力・学習状況調査が全国一斉に行われました。普段とは違った形式の調査問題に、6年生が一生懸命取り組みました。

結果は7月以降に、わかる予定です。結果をしっかりと分析して、今後の子どもたちの学習指導に活用していきます。

交流給食

学び続ける子ども&学びを支える環境

4月19日(金)、3年生の教室で交流給食を実施しました。交流給食とは、毎日の給食を作っていただいている給食調理員さんを教室に招き、一緒に給食を食べながら交流し、給食について学ぶと共に、感謝の心を育むことを目標にして、各学年で実施するものです。

今回は、坂本玲子さんが3年1組、尾幡博子さんが3年2組と交流しました。

調理員さんの思いや心遣いを知り、食について学ぶ機会となりました。岡本小学校の給食は本当においしいです。



おむかえ集会

学び続ける子ども

4月23日(火)は、6年生の実行委員会の企画による、1年生おむかえ集会在体育館で行われました。

最初の1年生の紹介では、担任の先生に名前を紹介され、大きな声で元気に「ハイ!」と手を挙げる姿が見られました。その後、実行委員会が作成したクイズ大会となり、元気な歓声が体育館にこだましました。

クイズはプレゼンテーションソフトを使ったもので、とても工夫され、全校児童が楽しめる内容でした。さすが6年生!



ゲストティーチャー 杉山野菜博士 学び続ける子ども&学びを支える環境

好天に恵まれた5月8日(水)には、杉山野菜博士こと前校長の杉山孝史先生をゲストティーチャーとしてお迎えし、2年生の野菜作りの授業が行われました。グラウンドのクスノキの木陰で、苗の植え替えを行いました。子どもたちと杉山先生の信頼関係もあり、とても和やかな雰囲気の中で、素晴らしい学びの時間となりました。

杉山先生には、校舎北側の除草も草刈り機でいただきました。ありがとうございました。

学校は、地域の皆様や関係者のご協力をいただきながら、子どもたちの学びを進めています。学びを支える環境に感謝しつつ、学び続ける学校づくりを進めます。

6年生 日光修学旅行 学び続ける子ども&学びを支える環境

修学旅行

5月10日(金)11日(土)の2日間、6年生は日光修学旅行に出かけました。

1日目は、小田原から修学旅行専用列車による日光駅までの列車の旅の後、東照宮を含めた世界遺産及び文化財の見学、2日目は、湯滝、竜頭の滝、中禅寺湖遊覧船、華厳の滝と巡り、日光の自然を満喫しました。2日間共に好天に恵まれました。私自身は華厳の滝を3回目にして初めてきれいに見ることができました。6年生にとって、一生の思い出となる旅行となりました。



陽明門



湯滝



華厳の滝

【校長室の窓から】

昨年の卒業式で中学校三年生に話したところからの抜粋です。
今日は「自主性と主体性の違い」についてのお話をします。

「自主性」と「主体性」はよく同じように使われますが、実は大きな差があります。簡単に言うと、「自主性のある人は「次は何をしただいですか?」と問うのに対して、「主体性」のある人は「次はこうしようと思いますがいいますか?」と問います。

自主性と主体性の違いは自分で考えて意思決定をすることにあります。「次は何をしただいですか?」という質問には自分の考えは入っていません。

反対に、主体性のある質問は、一度自分で考えて意思決定、(自分で考えて自分で決めること)をし、その確認をとる質問になっています。これが自主性と主体性の大きな違いです。

一日五回、「次は何をしただいですか?」と自主的な質問をするAさんと、一日五回「こうしようと思うのですがいいですか?」と主体的な質問をするBさんがいます。一ヶ月の学校生活を二十日間とすると、Bさんは一日五回自分で意思決定を行っているの、二十かける五で一ヶ月に百回自分で考えて行動していることとなります。そのまま一年経つたとなると千二百回になります。

では、一年間に千二百回も自分で考えて、意思決定をしてきたBさんと、自分で考えてこなかったAさんとは、どちらがより成長しているでしょうか。間違いなくBさんです。

「まず自分の頭で考える」という主体的な習慣が人間の成長につながります。自主性も大切ですが、これからの生活の中で「学び続ける習慣」を大切にして、「主体性」を身につけてほしいと願っています。

修学旅行で、六年生の姿を見ていると、とても自主性のある行動はできていますが、主体性という面では、まだまだ学び続ける必要を感じました。義務教育九年間の中で、主体性を育ていくことが求められています。